

農地法第5条第1項の規定による許可申請書（記載例）

仙北市農業委員会 殿

(双方捨印)

平成 年 月 日

譲渡人 氏名
譲受人 氏名

仙北 太郎
仙北 次郎

印
印

次のとおり転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定（移転）したいので、農地法第5条1項の規定により許可を申請します。

1 当事者の指名等	当事者の別	氏名	住所				職業			
	譲受人	仙北 太郎	秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地				農業			
	譲渡人	仙北 次郎	秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地				会社員			
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積 m ²	利用状況	10a 当たり普通収穫高	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別	
			登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名又は名称	
		田沢湖生保内字宮ノ後	31	畑	畑	150	休耕地	休耕地	3条使用貸借	仙北 次郎
計		150 m ²	(田 m ² 畑 150 m ²)		採草放牧地		m ²			
3 転用計画	(1) 転用の目的	一般個人住宅		(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細 一般個人住宅建築のため						
	(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	平成 年 月 日から 許可日より 永年(一時転用の場合は期間を記載)								
	(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期(着工 年 月 日から 年 月 日まで)				合計			
			名称	棟数	建築面積 m ²	所用面積 m ²	棟数	建築面積 m ²	所用面積 m ²	
			土地造成			150			150	
建築物			住宅・車庫	2	100	150	2	100	150	
小計				2	100	150	2	100	150	
工作物										
小計										
計		2	100	150	2	100	150			
4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別		権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他		
	使用貸借	設定	移転	許可日より		永年(一時転用の場合は期間を記載)				
5 資金調達についての計画	別紙のとおり (事業計画書 共通に記載)									
6 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	別紙のとおり (被害防除計画書に記載)									
7 その他参考となるべき事項										

記載要領

- 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
- 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、申請書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができます。この場合の別紙の様式は、別紙1及び別紙2のとおりです。
- 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作又は一毛作の別、畑にあっては、普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別、採草放牧地にあっては主な草名又は家畜の種類を記載してください。
- 「10a当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあっては採草量又は家畜の頭数を記載してください。
- 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。